

令和5年度 教育支援コーディネーター及びスクールソーシャルワーカーの
活動状況報告について

教育支援コーディネーター（ＣＯ）及びスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）への相談の主な事案は、いじめ、不登校、特別な支援を要する児童・生徒、養育が困難な家庭等である。学校管理職を経験した教育支援コーディネーター５人と、社会福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカー４人により、主に学校や関係機関との連携を図る業務を行っている。

1 対応案件数（延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和4年度	令和4年度との差
対応案件数	177	186	254	236	133	186	191	162	155	149	160	196	2,185	2,663	-478

2 新規案件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和4年度	令和4年度との差
新規案件数	10	8	13	17	11	12	17	8	7	10	9	10	132	118	14

3 CO主訴別実数（集計期間：4月から3月まで）

主訴内容		件数				令和4年度 (CO・SSW)
		小学生	中学生	その他	合計	
学 校	不登校	55	44	10	109	115
	教員等への不信	0	2	0	2	3
	進路・転校	8	2	3	13	16
	学校選択	0	1	0	1	0
	いじめ	1	0	0	1	0
	学習に関する問題	6	0	0	6	7
	非行（万引き・恐喝等）	0	0	0	0	0
	学校の対応について	7	1	3	11	11
	小 計	77	50	16	143	152
障 害	発達障害	24	2	0	26	36
	知的障害	0	1	1	2	8
	言葉・きこえ	0	0	0	0	1
	身体障害	0	0	0	0	0
	その他の障害・疾患	2	2	0	4	6
	小 計	26	5	1	32	51
家 庭 環 境	親の養育不安	15	2	4	21	47
	虐待・虐待の疑い	0	0	0	0	0
	家庭内暴力（DVを含む）	0	0	0	0	0
	養育困難	1	0	0	1	4
	経済的な困難	0	0	0	0	0
	小 計	16	2	4	22	51
落ち着きなし		0	0	0	0	0
集団不適応		0	0	0	0	0
小 計		0	0	0	0	0
合 計		119	57	21	197	254

4 SSW主訴別実数（集計期間：4月から3月まで）

主訴内容		件数			
		小学生	中学生	その他	合計
不登校		8	11	0	19
いじめ・暴力行為・非行等の問題行動		0	0	0	0
友人・教職員等との関係の問題		2	0	0	2
児童虐待		1	0	0	1
貧困の問題		0	0	0	0
ヤングケアラー		0	0	0	0
家庭環境の問題		14	8	0	22
心身の健康・保健に関する問題		0	0	0	0
発達障害等に関する問題		3	3	0	6
その他		2	0	0	2
合 計		30	22	0	52

5 CO相談者（対象は、3主訴別実数）

相談者	件数
保護者	125
本人	0
学校	15
その他	57
合 計	197

※その他には終結したケースを含む。

6 SSW相談者（対象は、3主訴別実数）

相談者	件数
保護者	30
本人	0
学校	20
その他	2
合 計	52

7 COコーディネート先件数（学校以外）

（対象は、3主訴別実数）

関係機関名	件数
教育相談所	1
適応指導教室「太陽の子」	33
病院・クリニック	7
学びの多様化学校分教室「はしうち教室」	49
放課後等デイサービス	1
訪問型支援「みらい」	36
その他	1
合 計	128

【主な特徴】

○新規案件数は、前年比で14件増加している。
 ○COの主訴内容（実数）は、不登校が全体の約55%と最も多く、次に発達障害、親の養育不安の順に多くなっている。
 ○COの学校以外のコーディネート先では、学びの多様化学校分教室「はしうち教室」、訪問型支援「みらい」、適応指導教室「太陽の子」が多い。
 ○SSWの主訴内容（実数）は、家庭環境の問題が全体の約42%と最も多く、次に不登校、発達障害の順に多くなっている。
 ○相談者は、CO、SSW共に保護者が最も多くなっている。